

# HANTA

エアースプレー

CSK-10型

CSK-10J型

## 取扱説明書

※ご使用前に必ずお読み下さい。



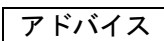
※本書は大切に保管して下さい。

CSK011125




### 《ごあいさつ》

この度は、HANTAエアースプレーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本書は、安全で正しい取扱い方法や、点検整備などの必要な事柄を説明しておりますので、ご使用前に必ずお読み下さい。

「安全にご使用いただくために」や、   の記号は、特に重要です。


本書の中で、使用されている記号は、次のとおりです。

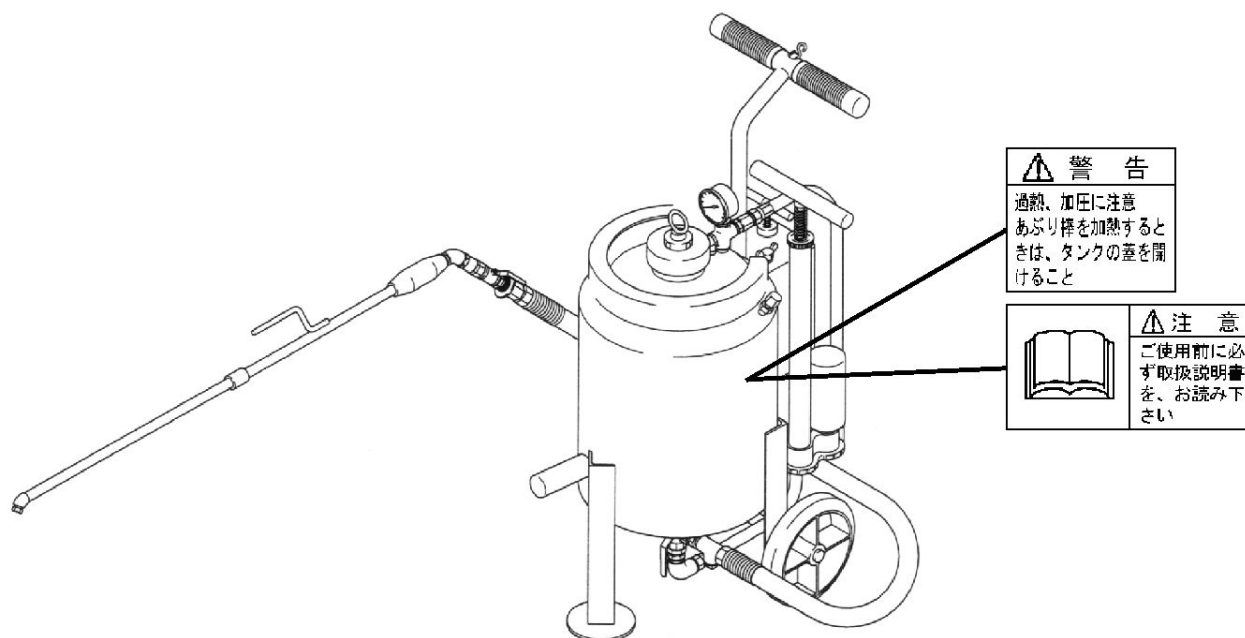
	守らないと、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態を示します。
	守らないと、軽傷、または中程度の障害、あるいは物損事故の可能性のある危険な状態を示します。
	運転操作や点検整備などをするうえで、知っておいていただきたいことや、知っておくと便利なことを示します。

※ご使用中の故障やその他ご不明な点、及びサービスに関するご用命は、当社、またはお買い上げいただきました販売店にお気軽にご相談下さい。



## 【警告ラベル表示場所】

	<p>警告ラベルは、常に読める状態にしてください。警告ラベルを破損、または紛失した場合は、新しいラベルを取り寄せて交換してください。 交換するときは、同じものか確認してください。</p>
---	---



## 【安全にご使用いただくために】

- 主たる用途のみに使用する  
本機は、アスファルト乳剤（以下乳剤）を散布する機械です。  
用途を誤ると重大な破損事故を招くことになります。
- 機械の性能の限界を知る  
本書では、主要諸元をお知らせしています。機械の性能の限界を知って、それを超えない正しい取扱いは、安全作業と機械を長持ちさせる秘訣です。
- 過熱、過圧に注意する  
あぶり棒を加熱するときは、メインタンクの蓋を開けましょう。
- 正しい服装をする  
強風などで思わぬ方向へ乳剤が飛散することがあります。安全メガネ、手袋、マスクなどの保護具を適切に着用しましょう。
- 警告文が全てではありません  
本書は、警告、注意などのお知らせをしていますが、安全の全てを網羅することは困難です。本書を理解して、細心の注意をはらってください。

## 【概要】

- ・エアースプレーヤーCSK-10、およびCSK-10Jは、小規模のアスファルト乳剤の散布、およびジョイント散布（CSK-10J）機です。
- ・手動式エアポンプで乳剤を入れたタンクに空気を送り、この空気圧を利用してタンク内から乳剤を吐出、ハンドスプレー（以下スプレー）のノズルから乳剤をフィルム状に散布します。
- ・移動に手押しハンドルを使用します。

## 【主要諸元】

型式	CSK-10	CSK-10J
散布能力	約5～10L/min	
散布圧力	約0.1MPa（約1～2kg/cm <sup>2</sup> ）	
ノズル数	1	
ジョイント散布装置	—	有
駆動源	手動ポンプ式	
散布ホース	2 m	
タイヤ	180φ	180φ及び75φ
乳剤タンク	約20L	
重量	約30kg	約38kg
寸法（L×W×H）	270×500×950mm	450×580×950mm

## 【組立方法】

### 1. 開梱時の荷姿（付属品）

	名称	数量
1	本体	1式
2	スプレーA（ノズル付）	1本
3	スプレーB（散布コック付）	1本
4	ハンドル	1本
5	蓋閉め棒	1本
6	オイルカップ	1ケ
7	エアースプレーヤー取扱説明書	1部
8	メインタンク蓋用パッキン	1ケ
9	ノズル	1ケ

### 2. 組立方法

(1) スプレーA（ノズル付）をスプレーB（散布コック付）にねじ入れ、締めつけます。

(2) スプレーに散布ホースの取付金具をねじ入れ、締めつけます。


**アドバイス** 乳剤はノズル先端のスリットに沿ってフィルム状に散布するので、お好みの角度に調整して下さい。

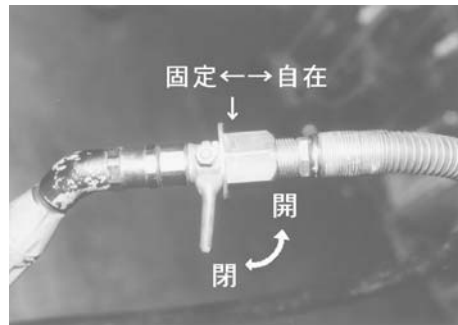
(3) ハンドルをハンドル差込みパイプに差込み、ボルトで固定します。

(4) オイルカップ受けにオイルカップを載せ、スプレーをパイプキャッチでオイルカップに立て掛けます。


**アドバイス** オイルカップは、乳剤の垂れによる汚損防止に使用します。

## 【運搬・積降し】

	<ul style="list-style-type: none"><li>・エアースプレーCSK-10は、空で約30kg（乾燥重量）あります。トラックの荷台などへの積降しは、二人以上で行って下さい。</li><li>・運搬時は、メインタンクなどの蓋がゆるんでないことを確認し、スプレバーの散布コックを閉じ、ストッパーで固定して下さい。こぼれたり、漏れて汚損のおそれがあります。</li><li>・ジョイント散布装置の遮蔽板を蝶ボルトでしっかり固定して下さい。抜けたり、ずれ落ちるおそれがあります。（CSK-10J）</li></ul>
---	--



## 【散布作業】

	<ul style="list-style-type: none"><li>・取付金具などにゆるみやガタがあると、乳剤が漏れたり、ホースが抜けて乳剤が飛散するおそれがあります。</li><li>・散布コックは徐々に開いて下さい。急に開くと思わぬ勢いでノズルから乳剤が噴射することがあります。</li><li>・作業中、散布ホースを引っ張らないで下さい。取付部の破損や本体の転倒などのおそれがあります。</li></ul>
---	--

### 1. 散布開始

(1) スプレバーの散布コックを閉じます。

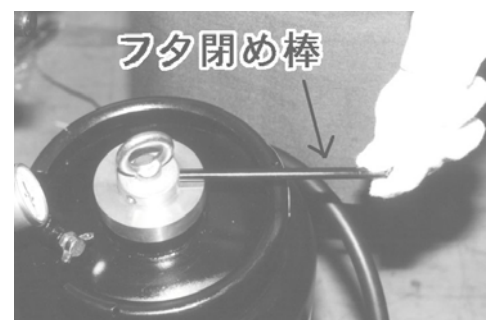
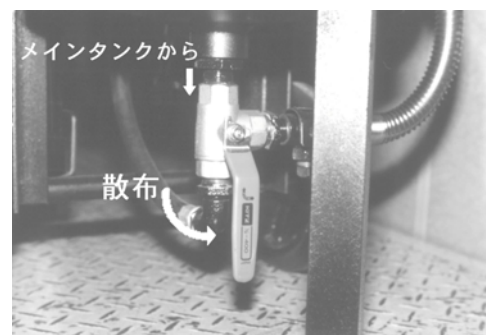
(2) タンク下切替コックを“散布”にします。

**アドバイス** コックの取手に流れる方向を表示していますが、取手の切り口にも表示しています。

(3) メインタンクの蓋を開き乳剤を約80%位入れます。

**アドバイス** 加圧するため、空気の部分を約20%位残します。

(4) フタ閉め棒でしっかり閉めます。



(5) サブタンクのサブポンプを外し、軽油又は灯油（以下洗浄油）を約80%位入れます。

**アドバイス** 加圧するため、空気の部分を約20%位残します。

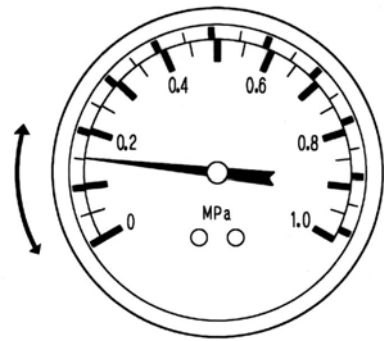
(6) 空気漏れのないようサブポンプの蓋でしっかり閉めます。

(7) エアーポンプでメインタンクへ空気を送り、加圧します。

**アドバイス**

- ・ 0.1MPa(約1kg/cm<sup>2</sup>)位で使用可能です。0.1～0.2MPa範囲でご使用下さい。
- ・ コンプレッサーもご利用いただけます。この場合、過圧に注意して下さい。

(8) 散布コックを徐々に開いて散布します。



## 2. 散布終了とノズル洗浄

(1) 散布コックを閉じます。

**アドバイス** 散布作業が終了したときは、メインタンク内の乳剤を空にします。

(2) メインタンクのエア抜きキャップをゆるめ、メインタンク内の圧縮空気を大気中へ開放します。

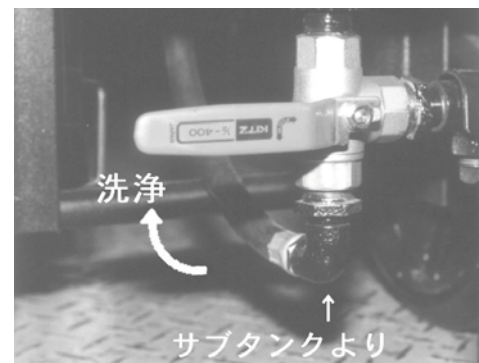
	タンク内に残圧があり、散布コックが完全に閉じてないと、乳剤が垂れたり漏れて汚損の原因になります。
--	--



(3) 切替コックを“洗浄”に切替えます。

(4) サブポンプでサブタンクへ空気を送り、加圧します。

(5) 散布コックを開き、ノズルを洗浄します。



(6) 散布コックを閉じます。

(7) サブタンクのエアー抜きキャップをゆるめ、サブタンク内の圧縮空気を大気中へ開放します。

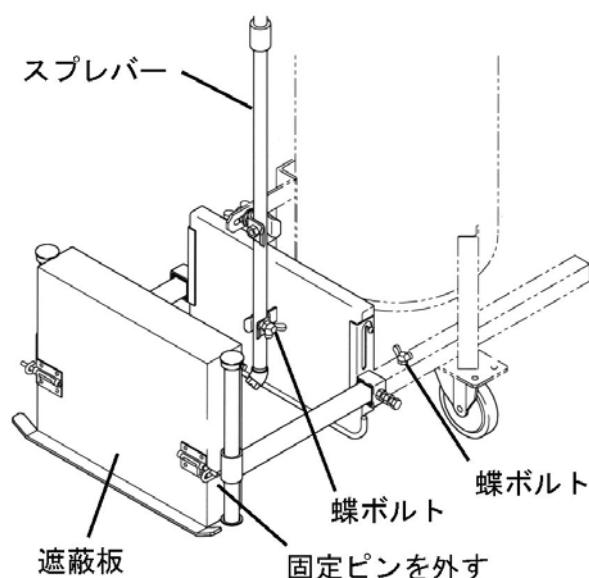
### 3. ジョイント散布 (CSK-10J)

(1) 遮蔽板を固定している蝶ボルトをゆるめます。

(2) スプレバーのノズルの高さ・角度をセットします。

(3) 遮蔽板をセットし、蝶ボルトで固定します。

(4) 遮蔽板に付着した乳剤の拭き取りは、洗浄油で処置をします。



### 4. 散布の具合が悪いとき

	<p>あぶり棒を加熱するときは、メインタンクの蓋を開けてください。 密閉状態で加熱すると、タンク内圧が上がり、本機の蓋、ホース、取付部、乳剤などの破裂、破損、飛散などで重大事故のおそれがあります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 洗浄油がタンクの内・外に付着しているときは、あぶり棒を加熱しないで下さい。</li><li>・ タンクを直接加熱しないで下さい。過熱は破損の原因になります。</li></ul>

(1) 乳剤が固結したときは、バーナーであぶり棒を加熱し、乳剤を溶かします。

(2) ノズルの目詰まりは、洗浄油で洗浄します。

(3) 圧力が上がらないときは、キャップ、コックの増し締めや、パッキン、ワン皮などを交換します。

# 【保証証券】

## 保証証券

本証券は、本証券記載内容により無償修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間内において万一不具合により故障が発生した場合は、弊社又は指定サービス工場に機械をお持ちいただき、本証券を提示され、修理をご依頼下さい。

### 1. 保証期間

保証期間は、機械納入日より起算して180日以内とします。

### 2. 保証内容

保証期間内において、機械を構成する部品及び材料、又は製造上の不具合により故障が生じ、これを弊社が認めた場合は、弊社又は指定サービス工場において無償で修理致します。

ただし、保証期間内といえども次の各号に該当する場合は、保証致しません。

- ①弊社の取扱説明書に示す正しい取扱いや、日常点検整備が実施されなかった場合。
- ②通常の注意で発見処置できたにもかかわらず、放置したことにより拡大した不具合。
- ③弊社が認めていない改造・変更が加えられた場合。
- ④純正部品以外の部品、及び指定外の油脂・燃料を使用した場合。
- ⑤弊社又は指定サービス工場以外で修理した場合。
- ⑥地震・台風・水害などの天災及び火災、並びに事故による損傷と認められる場合。
- ⑦弊社が指定した仕様の限度を越えて使用した場合。
- ⑧使用損耗や経年変化により発生する不具合。
- ⑨下記消耗品に類する部品  
樹脂・タイヤ及びゴム製品、パッキン、電気配線類、油脂類、クラッチフェーシング、バッテリー、ワイヤ、ボルト・ナット、割ピン、ノズル、ベルト、各種フィルタエレメントなどの消耗品。

3.本証券は再発行致しませんので、大切に保管して下さい。

4.保証期間経過後の修理について、ご不明の場合は弊社又は指定サービス工場にお問い合わせ下さい。

機種名	
機械型式	
機械番号	
保証期間	納入日より180日間
	納入日: 年 月 日
御使用者氏名	
御使用者住所	
販売会社名	
販売会社住所	
サービス工場	

## 範多機械株式会社